

日吉駅西口が一方通行に変わりました！ ～地元商店街・町内会との協働により、駅前を安全で歩きやすい空間に～

日吉駅西口において、地域と港北区が連携して取り組んできた一方通行化の取組が、規制表示の工事を経て、12月19日(金)に実現しました。

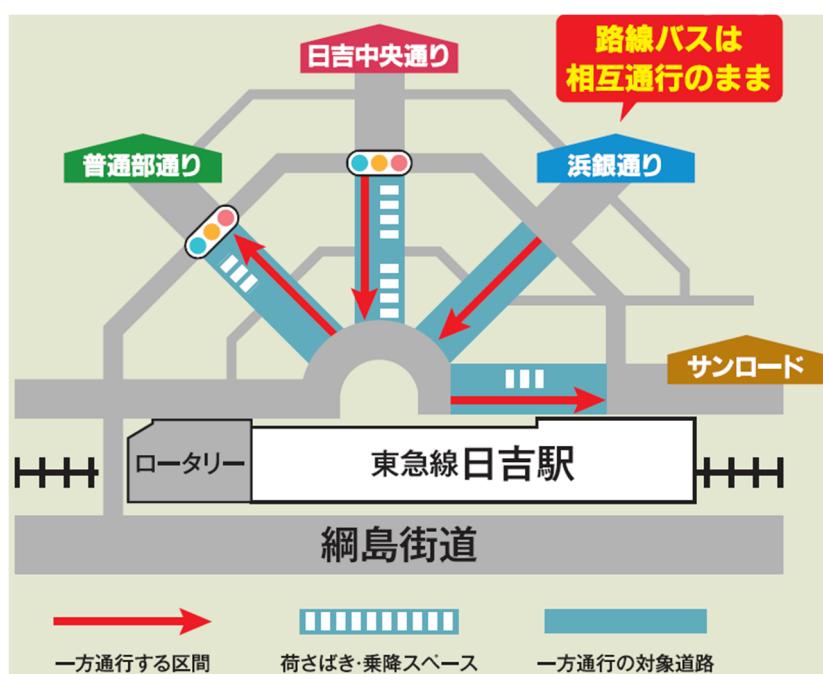
日吉駅は一日当たりの駅乗車人員が20万人を超える駅(※1)でありながら、西口は道幅が狭く歩行者の安全確保が課題となっていましたが、商店街や町内会関係者が令和2年に「日吉まちづくり推進委員会」を結成し、社会実験を行うなど、課題解決に向けた取組を進めてきた成果です。

交通ルールとマナーを守って、安全な歩行空間づくりにご協力をお願いします。

※1 令和5年度駅乗車人員 208,639人(横浜市統計情報ポータルより)

日吉駅西口一方通行の概要

- 一方通行は、自転車を含むすべての車両が対象です。
- 普通部通り・日吉中央通り・浜銀通り・サンロードのうち、日吉駅前から約100mの範囲が終日一方通行に変わりました。
- 浜銀通りを通行する路線バスは、これまで通り相互通行で運行します。
- 普通部通り・日吉中央通り・サンロードに荷さばき・乗降スペースを設けました。



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



«参考»日吉駅西口の一方通行化までの経緯

港北区では、「日吉まちづくり推進委員会(※2、以下、委員会)」の皆様とともに、日吉駅西口の課題を解決するために令和2年から次のような取組を行ってきました。

- 令和3年に「歩行環境改善に向けたアンケート調査(※3)」を実施し、約9割の方が歩きづらさを感じていることが分かりました。
- 令和4年12月に一方通行化の社会実験を実施しました。実験後に行ったアンケートで、約8割の方から一方通行化への賛同を得られたことから、一方通行化の本格実施に向けた検討及び関係機関との協議を進めました。
- 令和7年3月に港北警察署長、港北区長あてに委員会から「日吉駅西口車両一方通行化に関する要望書」が提出され、その後港北区において一方通行化に向けた調整を行いました。

※2 横浜市地域まちづくり支援制度を活用したまちの課題解決を図る検討を行う団体。

構成員は、商店街、町内会、学校関係者など。代表は、重田清委員長(日吉商店街協同組合理事)

※3 周辺住民(1,945)、事業所(121)、来街者(672)を対象に実施。(かっこ内)は回答数。

歩行環境改善に向けたアンケート調査(抜粋)



日吉まちづくり推進委員会の取組状況

▼ 推進委員会の様子



▼ 一方通行化社会実験



これまでの取組
詳細はこちら



日吉のまちづくり で検索

お問合せ先

港北区区政推進課長 萩原 慶一 Tel 045-540-2220



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

